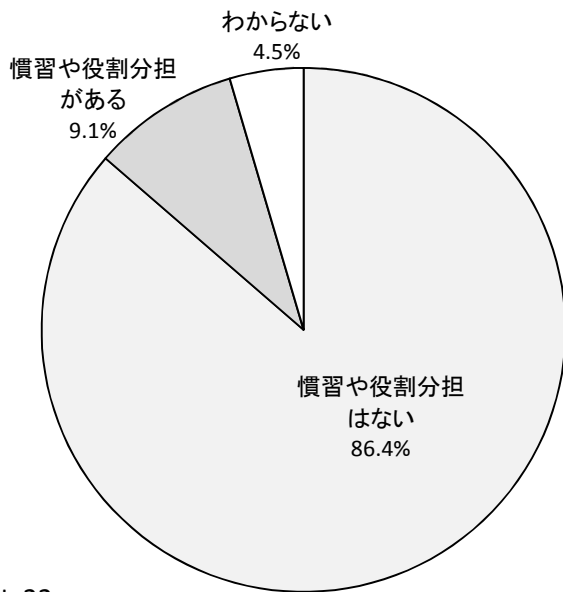


性別による慣習や役割分担について

1. 性別による慣習や役割分担の有無

【自治振興区アンケート】



N=22

「慣習や役割分担がある」場合、その内容

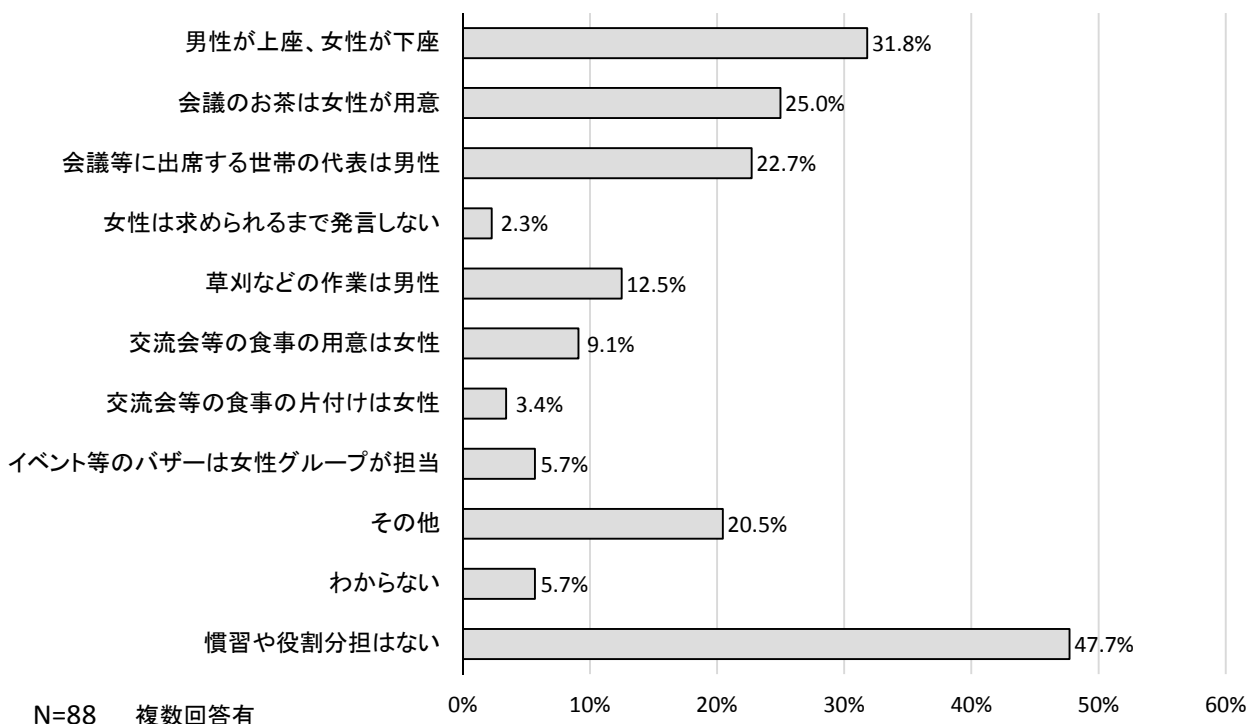
○ふるさと祭などのバザーや食事（2）

○専門部のうち、女性部は女性のみで構成

その他特記事項

○自治振興区では性別による役割分担はないが、基礎団体である自治会で、会長・班長について男性を選出する機会が多く、そのため、自治振興区の役員構成で男性が多くなっている。

《参考 平成 21 年度》



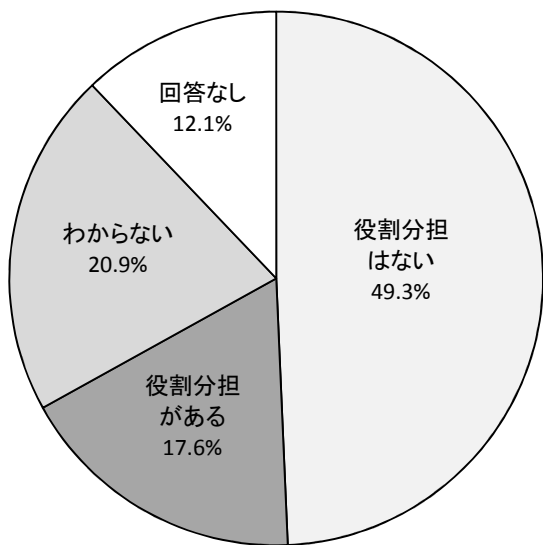
自治振興区アンケートでは、性別による「慣習や役割分担はない」との回答が8割を超えています。「慣習や役割分担がある」の内訳は、作業の内容の分担や女性部の存在などであり、前回の調査で多数あった性別による座席の違いという回答はありませんでした。

平成 21 年度の調査では、慣習や役割分担の具体例を示した質問方法であったので、単純に比較はできませんが、「慣習や役割分担はない」との回答が大幅に増えていることがわかります。

1. 性別による慣習や役割分担の有無（続き）

【市民アンケート】

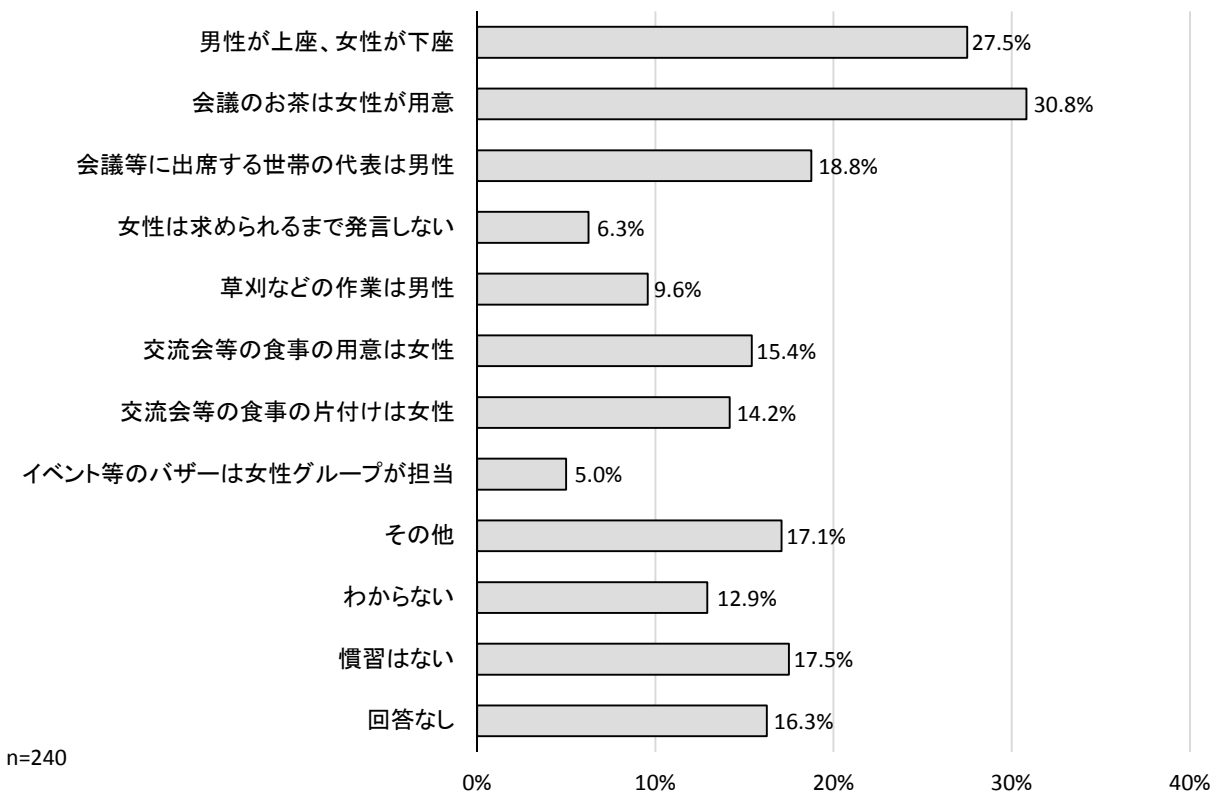
n=363



「慣習や役割分担がある」場合、その内容

- 作業の分担（41）
 - ・食事の関係は女性、力仕事は男性が担う。
 - ・草刈は男性が担当することが多い。
 - ・作業の向き不向きで分担している。
 - ・葬祭行事での役割分担がある。
- 役員を選考（23）
 - ・役員を選ぶとき、男性を選ぶことが多い。
 - ・会議の出席でも、女性は代理として出席されることが多い。
- 席順（4）
 - ・女性は進んで前の方の席を取らない。
- その他
 - ・女性部というものがある。

《参考 平成 21 年度》



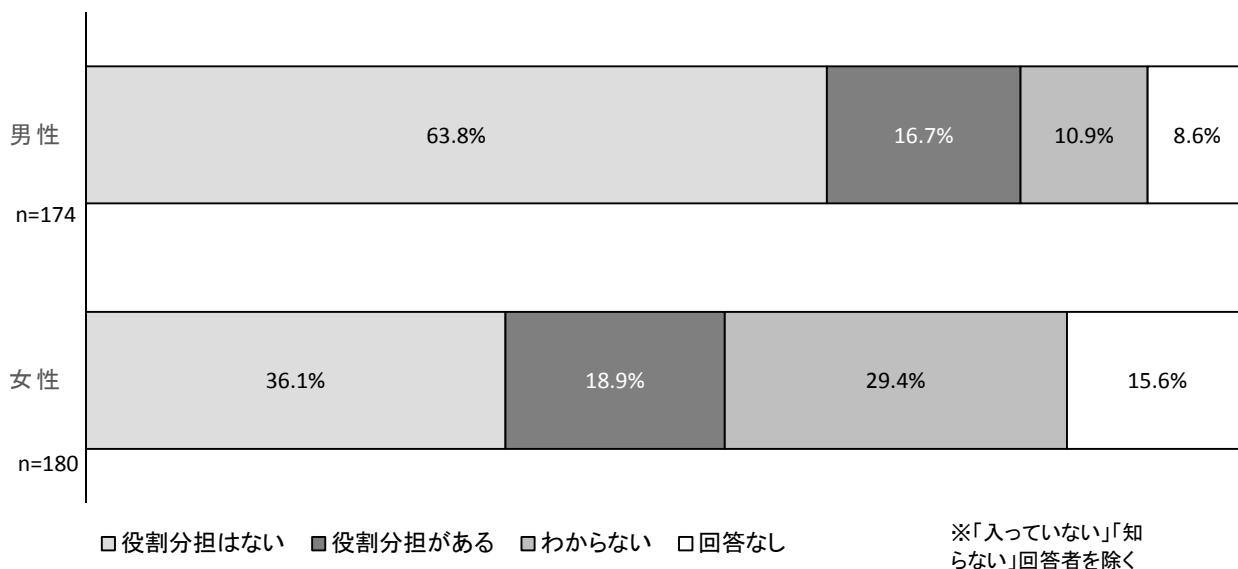
n=240

市民アンケートでは、性別による「慣習や役割分担はない」との回答が全体で約5割で、自治振興区アンケートよりも低くなっています。「慣習や役割分担がある」場合の内容は、「作業の分担」という回答が最も多く、「役員を選考」が続きます。「作業の分担」の内容としては、食事に関することは女性、体力を必要とすることは男性という回答が多くみられました。

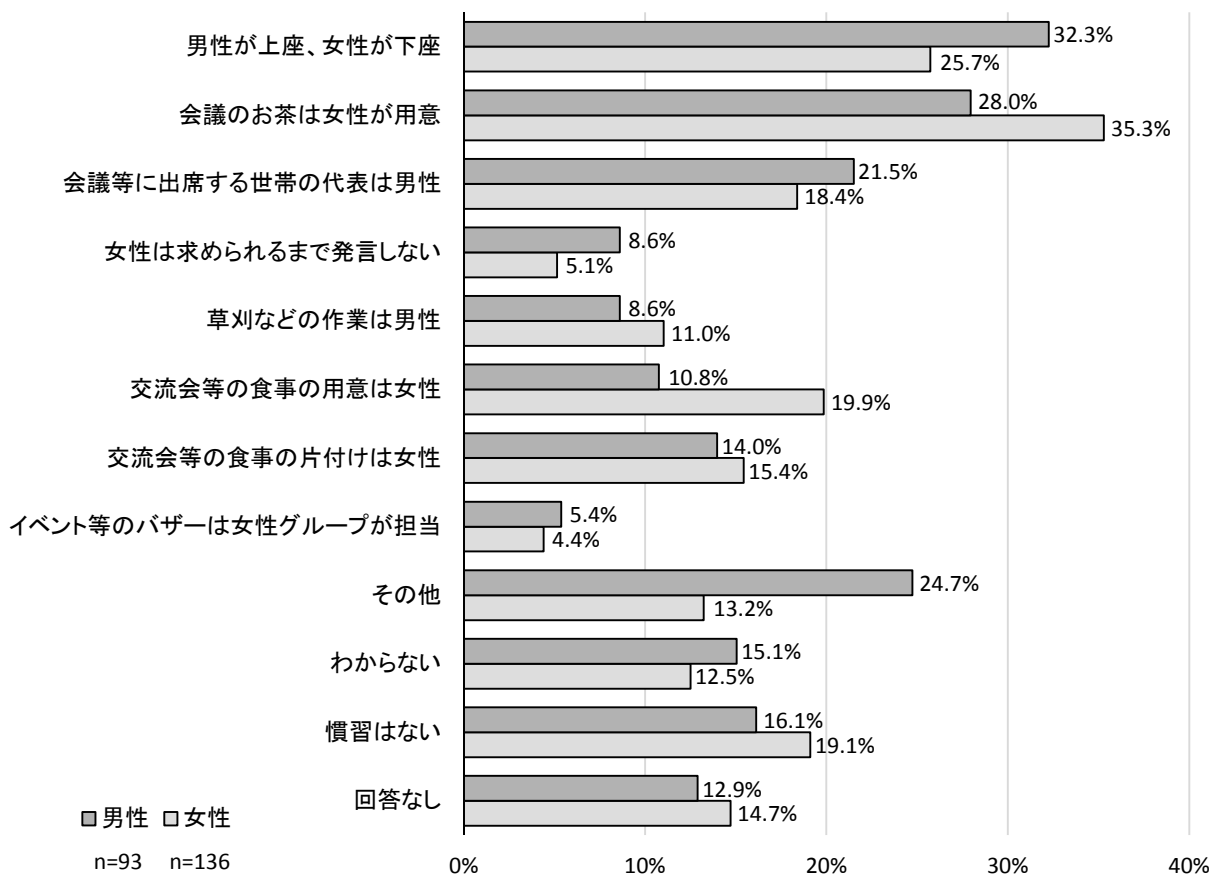
平成 21 年度は、慣習や役割分担の具体例を示した質問であったので、単純に比較はできませんが、それでも、「慣習や役割分担はない」との回答が大幅に増えていることがわかります。

1. 性別による慣習や役割分担の有無（続き）

【市民アンケート】



《参考 平成 21 年度》

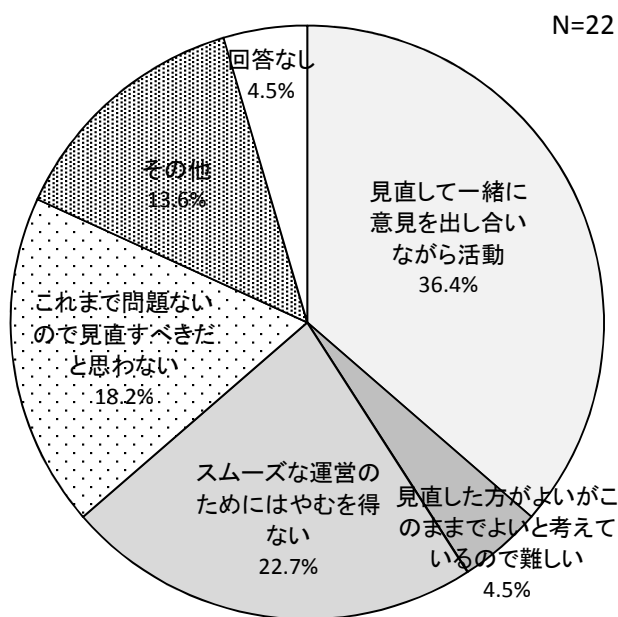


市民アンケートの結果を男女別に見ると、性別による「慣習や役割分担はない」との回答が男性が63.8%なのに対して、女性が36.1%と差があることがわかりました。全体で約5割で、自治振興区アンケートよりも低くなっています。

平成 21 年度は、慣習や役割分担の具体例を示した質問であったので、単純に比較はできませんが、「慣習や役割分担はない」との回答がわずかに男性より女性が多く、27 年度とは異なっています。

2. 性別による慣習や役割分担の見直し

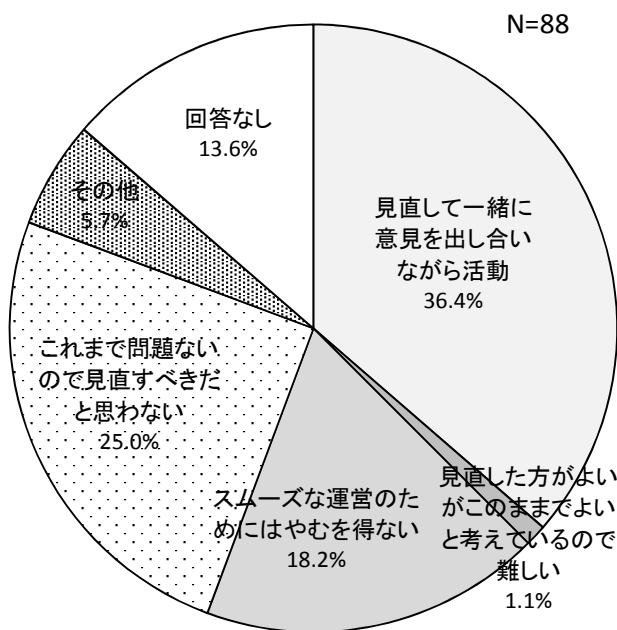
【自治振興区アンケート】



「その他」の内容

- ・特に感じていない。
- ・慣習に基づく得意分野があれば分担するが、性別のみで決めるべきではない。
- ・今のままでよいと思うが、役員のうち三役のなり手が無い。女性部は女性だけの活動がよいと思う。バザーなどでは、テントの設営、ガスの設置等、男性の必要などところでは手伝っている。

《参考 平成 21 年度》

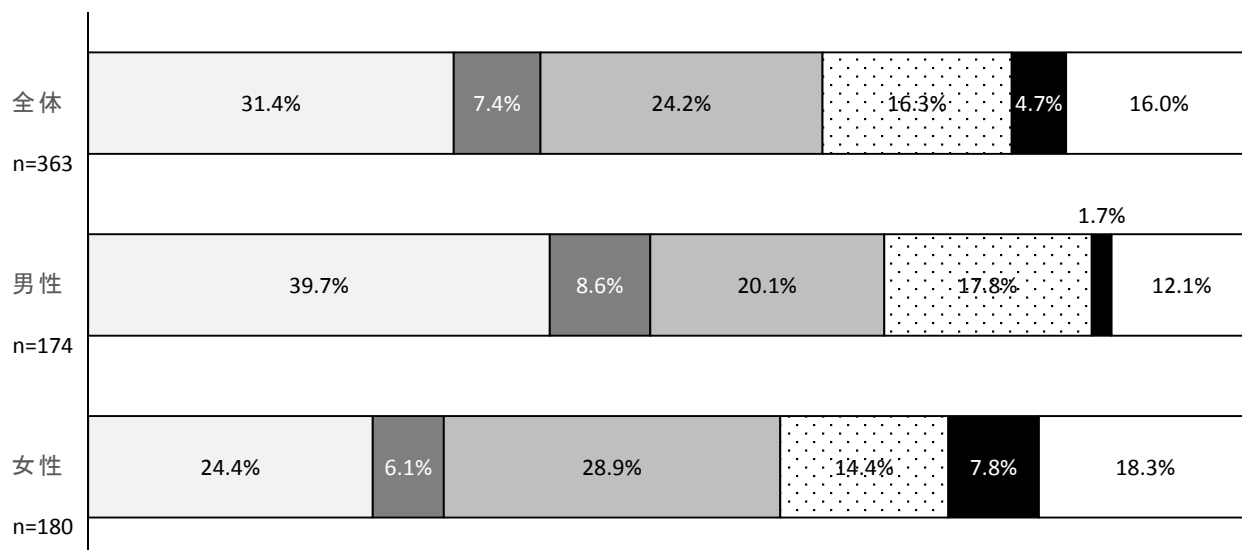


自治振興区アンケートでは、性別による慣習や役割分担の見直しについて、「見直して一緒に意見を出し合いながら活動する」との回答が 36.4%で最も多く、「スムーズな運営のためにはやむを得ない」が 22.7%、「これまで問題ないので見直すべきだと思わない」が 18.2%と続いています。「適材適所」あるいは、「得意分野」という観点から「スムーズな運営のためにはやむを得ない」と考えている自治振興区が多いようです。

平成 21 年度の調査でも、「見直して一緒に意見を出し合いながら活動する」との回答が 36.4%で最も多かったですのですが、1/4が「これまで問題ないので見直すべきだと思わない」と回答していました。

2. 性別による慣習や役割分担の見直し（続き）

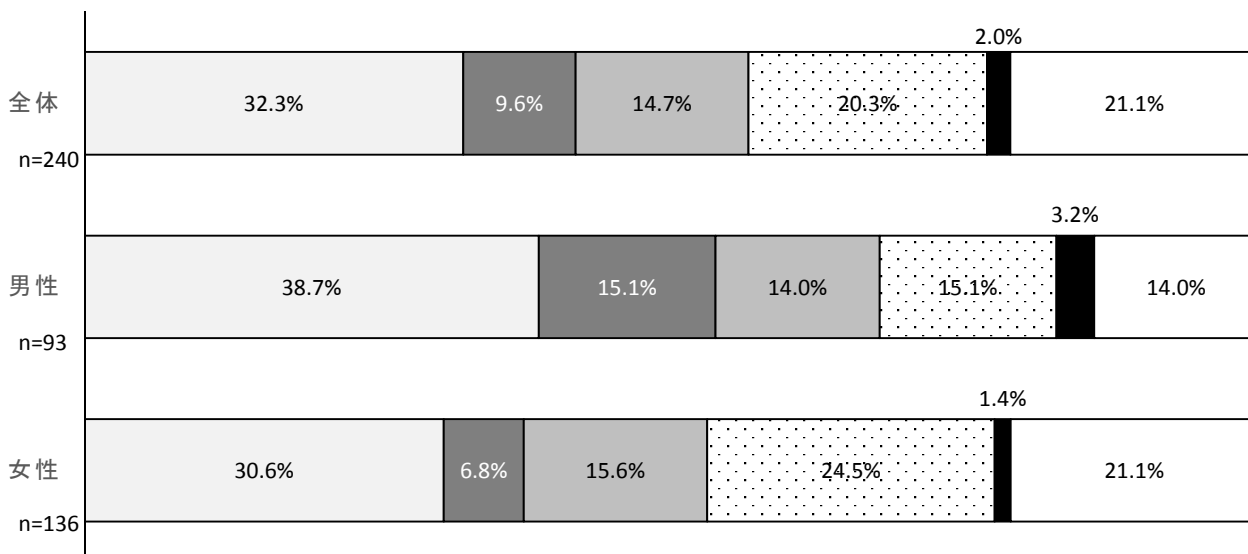
【市民アンケート】



見直して一緒に意見を出し合いながら活動
 見直した方がよいがこのままでよいと考えているので難しい
 スムーズな運営のためにはやむを得ない
 これまで問題ないので見直すべきだと思わない

※「入っていない」「知らない」回答者を除く

《参考 平成 21 年度》




見直して一緒に意見を出し合いながら活動
 見直した方がよいがこのままでよいと考えているので難しい
 スムーズな運営のためにはやむを得ない
 これまで問題ないので見直すべきだと思わない

※「入っていない」「知らない」回答者を除く

市民アンケート全体では、「見直して一緒に意見を出し合いながら活動する」との回答が約 3 割で最も多く、「スムーズな運営のためにはやむを得ない」が続きます。男女別でみると、男性では「見直して一緒に意見を出し合いながら活動する」との回答の割合が、約 4 割と最も多いのですが、女性は「スムーズな運営のためにはやむを得ない」が約 3 割と最も多くなっており、平成 21 年度とは異なる結果となっています。「性別による慣習や役割分担」と考えている事象の内容が、上座下座といったものではなく、能力を活かした合理的な作業の分担に変わってきていることも要因として考えられます。

自治振興区での女性の活躍事例


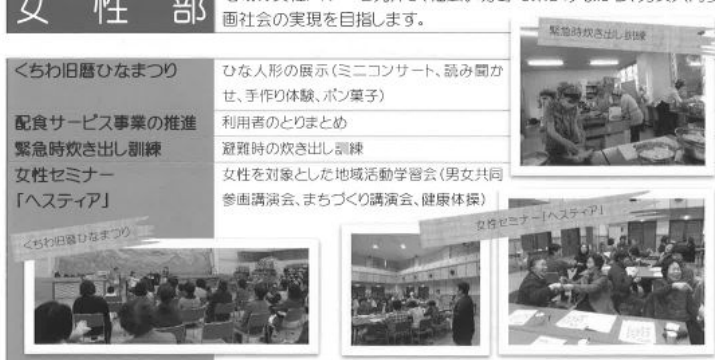
【自治振興区アンケート】回答いただいた自治振興区のみ掲載しています。

自治振興区	活躍事例
庄原	専門部活動における生涯学習事業でのサークル活動は、女性が中心となって活動している。
高	役員としての活躍は少ないものの、趣味による活動団体は女性の参加する団体が多く、福祉に関わる活動も女性が多く参加している。
峰田	女性部としての活動は、弱いところはあるが、いいと思う。 老人福祉部は女性が部長になり、全体の運営はうまくいっていると感じる。 老人福祉部の活動の中で、ふれあい広場、ふれあい給食は女性が活躍している。
敷信	<p>【振興区女性部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい市の開催 ・フラワーアレンジメント講習会 ・健康講座の開催 ・区民運動会での女性対抗種目の企画運営 ・敬老会で演芸披露や敬老者の接待 ・ふるさと祭でバザー <p>【女性による主なサークル活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押し花同好会：市役所ロビーやかんぼの郷等地区外での展示会開催、自治会サロン等への指導で参加 ・フラダンス同好会：市内老人施設への慰問、さくら学園の学園祭や他地区のイベント出演、けんみん文化祭県大会出場 ・菜の花会（150人規模の女性サークル）：視察研修旅行他さまざまな勉強会、独自のグラウンドゴルフ大会の開催、板橋ひだまり広場との世代間交流事業（年3回）、ふれあいカフェの運営スタッフ
東	<p>特に女性部の活躍が顕著である。（資料を添付するのでご一読ください。） 《資料から一部抜粋》</p> <p>事業報告</p> <p>女性部が設立されて5年半が経過した今、自治振興区の中で女性が主体的に活動し、自らを高めていくためのステージが着実に整いつつある事を実感しています。</p> <p>女性部活動は、「まず、集いましょう！気楽に話せる場を沢山つくりましょう！」を合言葉に、一人ひとりの違いをともにできる場づくりを工夫してきました。</p> <p>そのような中、自分に合った活動の場が広がり、他の専門部会との共催行事にも積極的な参加がみられるようになっていきます。</p> <p>中でも、今年度初めて行われた「第1回ござれ市」は、女性部の提案により、自治振興区の大きな行事として発足しました。</p> <p>なにはともあれ、さまざまな活動をとおして、居心地の良い地域づくりの力が次第に培われていくことに、大きな意味を感じているところです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">平成27年度</p> <p style="text-align: center;">東自治振興区女性部総会</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">日 時 平成27年4月11日（土） 19:00～20:30</p> <p style="text-align: center;">場 所 東自治振興センター二階会議室</p> </div>

【自治振興区アンケート（続き）】回答いただいた自治振興区のみ掲載しています。

自治振興区	活躍事例
山内	民生委員、放課後児童教室の指導者として活躍していただいている。 監査委員になっていただいている。
北	振興区として計画された活動のほか、自主的にグループや班を編成して活動している。（例：てごくらぶ、手芸班、加工班） 社会福祉部 部長・副部長 2名は女性である。
西城	事務局職員は女性比率が高い（1：4）活動計画の策定支援、実活動における支援等、企画・実効面で貢献大きい。
八銚	<ol style="list-style-type: none"> 1. 男性料理教室（8回／年）、女性料理教室（4回／年）の講師 ※有資格者である特定の女性が講師となり、それぞれの教室を指導 2. 寄せ植え講座（1回／年）、生花サロン（1回／年）、創作教室（2回／年）の講師 ※上記メニューに応じ、女性部より適切な講師を選任し開催 3. 健康体操（15回／年） ※健康寿命を延ばす目的で、高齢女性が中心に自主的に開催 4. グラウンドゴルフサークル（36回／年） ※健康寿命を延ばす目的で、高齢女性が中心に自主的に開催 5. 各種サロンの企画、サロンの新設、サロン運営の改善（通年） ※地域マネージャー（女性2名）が中心となり、管下4自治会内で活動 6. タマネギ栽培（通年） ※地域マネージャー（女性2名）が各農家の栽培・販売等を指導 7. カラオケ教室（60回／年） ※女性が積極的に参加、過半数以上を占める 8. 自治振興区の施設の環境整備（1回／年） ※管下4自治会から自主参加により活動 9. 地域マネージャー業務（通年） 女性2名従事 <ol style="list-style-type: none"> ① 支え合い支援 Gr 会議の企画・運営、振興区内外各関係機関の会議・研修会・行事への積極的参加 ② 高齢者（一人暮らし後期高齢者、後期高齢者のみの世帯、年齢問わず心身に障害のある方）への福祉活動 ③ 上記5. 6. への活動
東城	自治振興区を構成する 10 自治会が選出する幹事について、各自治会から男女1名ずつを選出するよう規約で定め、女性の活動参加を促しています。
小奴可の里	農産加工部の活動：45人全員が女性であり、地域の農産物を活用して特産品づくりに取り組んでいる。 文化祭・敬老会等：各種イベントには女性グループが積極的に取り組み、舞台等を盛り上げている。
八幡	<ul style="list-style-type: none"> ・デイホーム事業（月2回）の運営 会員39名、スタッフ3名 ・女性大学（月1回）活動 会員14名で自主運営 ・放課後子供教室を1回2人で運営。 ・女性部活動 部員27名 月1回ペースで活動。
田森	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回女性部 75歳以上の一人暮らしの方へのお弁当の宅配 ・ふれあい祭などイベントの食事（バザー） ・地域の特産品の開発
帝釈	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域サロン活動の世話人等 ・支部活動：編み物、パッチワーク、生け花等 ・各教室：箏曲、ステンドグラス、料理等
新坂	銭太鼓教室、編物教室、大正琴、グラウンドゴルフ教室

【自治振興区アンケート（続き）】回答いただいた自治振興区のみ掲載しています。

自治振興区	活躍事例
口和	<p>【口和自治振興区だより特別号を添付します】</p> <p>〔口和自治振興区だより〕 特別号 平成27年3月31日</p> <p>老人部 今の時代、今の年齢だからこそ、ともにできること、創ること、学ぶことを喜び楽しむ活動作りを目指します。</p> <p>創年大学講座 高齢者の生きがいづくり 「健康教室」「音楽教室」「体と頭の体操」 「かけめぐり社会見学」「お楽しみ講座」 「交通安全教室」</p> <p>デイホーム事業の協力 金田、永田、宮内、本谷、竹地谷</p> <p>老人グラウンドゴルフ大会 老人を対象としたグラウンドゴルフ大会</p> <p>高齢者相互支援訪問事業</p> <p>地域包括ケア推進事業 金田、宮内、向泉(市老連事業)世代間交流</p> <p>防犯シール配布 振り込め詐欺防止啓発シール 庄原警察</p>  <p>女性部 地域の女性パワーを発揮し、幅広い分野で楽しみながら、男女共同参画社会の実現を目指します。</p> <p>くちわ旧暦ひなまつり ひな人形の展示(ミニコンサート、読み聞かせ、手作り体験、ボン菓子)</p> <p>配食サービス事業の推進 利用者のとりまとめ</p> <p>緊急時炊き出し訓練 避難時の炊き出し訓練</p> <p>女性セミナー「ハステア」 女性を対象とした地域活動学習会(男女共同参画講演会、まちづくり講演会、健康体操)</p>  <p style="text-align: center;">=4=</p>
下高	<p>地産地消をめざし、地元産の食材を活かした加工品販売グループが特産品開発に取り組んでいる。特に、道の駅たかの開設後は、これらの女性加工組合・グループの方による特産品開発・販売実績は拡大された。特に、退職された女性は前職の給食・調理の経験を生かして道の駅等の加工販売技術力に貢献している。各自治会の料理・調理講座も行っている。</p> <p>従前、自治振興区活動促進補助金事業を導入した自治会も、加工施設導入後の事業効果も女性を中心に推進されており、道の駅たかの等の販路販売の拡大につながった。</p> <p>こうした女性の活躍により、各地域自治会の活力、アイデアとなり、地域を動かしている。</p>
比和	<p>生涯学習分野等では、女性の積極的な参加が多く、いかにして男性(特に高齢者)を家から連れ出すかということに困っている。男女とも、自分の中にある「内なる壁」を打破することが大切である。</p>
総領	<ul style="list-style-type: none"> ・地域マネージャー：地域課題への取り組み ・文化協会：企画運営、構成員 ・サロン：企画運営から参加者まで

女性参画のための取り組み

【市民アンケート】

「あなたは、女性が自治振興区の会議や行事に積極的に関わるためには、自治振興区はどのような取り組みをしたらよいと思いますか。また、地域、女性の家族、女性自身はどうしたらよいと思いますか。」との質問に対する主な回答を主旨ごとにまとめています。

自治振興区

- 女性が参加しやすいよう、日程や時間帯などを見直す。
(昼間や休日に設定する、高齢者の交通手段を確保するなど)
- より多くの人気が軽に参加できる行事を工夫する。
- 女性向けの内容、女性を参加対象とした行事を増やす。
- 家族や子ども連れで参加できる行事を増やす。
- 参加者に負担がかからないような新しい楽しい行事を企画する。
- 自治振興区の活動をわかりやすく広報していく。
- 行事の内容等を検討する際に、女性の意見に耳を傾ける。
- 普段あまり参加しない人に声かけをする。

地域

- 男女問わず、高齢者若者子どもが喜んで集まることができる地域づくり。
- 地域での絆を大切にす。
- 行事に誘い合って参加する。女性同士で呼びかける。
- これまでの慣行に柔軟性を持たせる。
- 地域全体で活動できるよう団結を高める。

女性の家族

- 家庭内の役割分担に配慮し、協力する。
- 家庭内で話し合い、理解する。
- 自治振興区の活動のことを知る。
- 地域の活動に家族みんなで参加するようにする。

女性自身

- 積極性を持つ。積極的にいろんな場に参加する。
- 自治振興区の活動に関心を持ち、理解する。
- 他人任せにせず、自分も地域の一員である意識を持つ。
- 女性同士の親睦を深める。

女性が自治振興区の会議や行事に積極的に関わるために、自治振興区に求められていることとして、日程等を参加しやすく配慮することや行事の内容を工夫することという意見が多くありました。行事の内容として、「女性向けの行事を増やす」と「性別年齢問わずみんなが参加しやすい行事であればおのずと女性の参加が増える」という両方の意見がありました。また、自治振興区の活動をよりわかりやすく広報することや声かけをすることも大切であるという意見もありました。

地域では、「つながり(絆・団結)を大切にする」、女性の家族は「家庭内での役割分担や家事等の協力・理解が必要」との意見が多くありました。

女性自身については、積極性や地域の一員としての自覚を持つことが大切であるという意見が多くありました。

【資料】

調 査 票
(市民／自治振興区)